



南赤塚  
小学校



「わたしの好きな本」

本を読むことが多い南赤塚小学校の子どもたちに好きな本について紹介してもらいました。

一年 森 瑞稀

わたしの好きな本は、「うみうさぎのきたひ」です。なわとびがでなかつたりつちゃんがつさぎにであって、いっしょになわとびがとべるようになったところから、すきだからです。

一年 金子 権音

わたしの好きな本は、「バケバケボン」です。オバケのバケボンはくいしんぼうで、おかしをたべると体の色がそのおかしの色になるので、そこがおもしろいです。

一年 吉川 咲彩

わたしの好きな本は「ありとすいか」です。どうしてかというところ、ありのいえの中を見られてたのしいからです。わたしもありのいえの中に入れてみたいです。

二年 中村 絢音

わたしは「なのだのノダちゃん」の本がすきです。どうしてかというところトムの苗がかれていたら、トマトの苗にトマトジュースをかけて大きくするところがおもしろいからです。

二年 池田 かな

わたしのお気に入りの本は「心ってどこにあるの」です。色々な時に心がどうなるかをせつめいる本です。読んでみると心があちついてくるすてきなお話です。

三年 眞瀬 颯太

ほくは、コミタケシンスケさんの本が好きです。特に「あるかしら書店」とい

う本です。理由は、想像とは色々と違う楽しさがあるのどうきつきするからです。

三年 サニン ニキータ

ほくの好きな本は「ミの島のサバイバル」です。女の子が地球のために海にある「ミ」を船に乗って取っているところが好きです。自分もこういう気持ちをもちたいと感じました。

三年 熊谷 樹

ほくの好きな本は「54字の物語」です。この本は、ページずつとばして文章が書いてあり、次のページに意外な結末の絵が描いてあります。

文章と絵の組み合わせがおもしろく楽しいので、ほくはこの本が好きです。

四年 鈴木 徠未

私の好きな本は、伝記シリーズです。なぜかというところ、伝記は昔の人のすごいところを書いてあり、そのすごいところを知ることが自分の未来に役立つ、つな

がるのかなと思うからです。私は伝記が好きです。

四年 岩崎 百葉

私の好きな本は、「はじめの敬語」です。なぜかというところ、学校で使える敬語、家で使える敬語や街で使える敬語と種類が三つもあり、説明もついていてわかりやすいからです。

四年 伏木 優空

ほくの好きな本は、「きけん生物」です。きけんな動物や虫の種類、さされるところなるかなど分かります。きけんな生き物に会ったら、触らないで逃げるようにしたいです。生き物についてくわしく分かってよかったです。

私は、「ほくは上手にしゃべれない」という本が好きです。人と話すのが苦手な主人公、悠太が放送部に入り、くしくしながらも少しずつ変わっていく様子がすごいと思っただからです。

五年 上薄 あいり

私は、「ほくは上手にしゃべれない」という本が好きです。人と話すのが苦手な主人公、悠太が放送部に入り、くしくしながらも少しずつ変わっていく様子がすごいと思っただからです。

五年 木村 香乃

私の好きな本は、角川つばさ文庫の「四つ子くらし」です。みんな同じ顔なのに抱えている不安は違って、それに気付き助け合う姿がかっこいいと思います。好きな本になりました。

六年 保知 彩緒里

私は「こまつたさんのサラダ」がおすすめです。小さなお花屋さん、魔女などのお客さんが来て、事件を料理で解決していきます。レシピも書いてあるので作ってみようと思います。

六年 山本 彩音

「空想科学読本」この本は、アニメや小説などの出来事を科学的に検証する本です。

図や計算式などで説明し、どの内容も非常に説得力があります。とても読みごたえがあります。

